

---

---

## 第 74 回数理社会学会大会 (JAMS74) プログラム (大会前確定版)

日時：2023 年 3 月 7 日 (火) ～3 月 8 日 (水)

会場：筑波大学

大会委員長：山本英弘 (筑波大学)

---

---

### 1 参加費：

一般 (会員) 4,000 円                  学生・院生 (会員) 1,000 円

一般 (非会員) 5,000 円          学生・院生 (非会員) 2,000 円

### 2 懇親会：コロナ感染防止のため、開催しません。

### 3 主なスケジュール

時間	
3 月 6 日	15:00～17:00    ワンステップアップ・セミナー
3 月 7 日	9:15～10:55    自由報告 I (第 1 部会)                  自由報告 I (第 2 部会)
	11:10～12:40    萌芽的セッション I (会場 1)
	12:40～14:00    昼食休憩
	14:00～16:00    開催校シンポジウム
	16:10～17:10    総会
3 月 8 日	9:00～10:15    自由報告 II (第 3 部会)                  自由報告 II (第 4 部会)
	10:30～12:00    萌芽的セッション II (会場 1)

### 4 主な会場 (第 1 エリア 1 H201 教室および 1C210 教室)

- ・受付：1H201 教室前
- ・会員控室・抜き刷り交換コーナー：1C306

### 5 口頭報告者へのお願い (自由報告)

- ・部会開始 5 分前に集合して、司会者と打ち合わせをしてください。報告 15 分、討論 10 分です。
- ・会場設置パソコンを利用できます (Windows10, Office365)。持参パソコンの場合、HDMI 端子接続の Windows ノートパソコンが使用可能です。いずれの場合も持参の機器は、部会開始前に必ず接続テストをお願いします。
- ・ファイルは当日持参してください (USB メモリ利用可)。

- ・配布資料は、報告直前に配布してください。残部は持ち帰るか、抜き刷りコーナーに置いてください。
- ・(司会者の方々へ) 部会開始 5 分前に集合ください。報告 12 分で 1 鈴, 15 分 2 鈴, 25 分 3 鈴を鳴らします。

#### 6 ポスター報告者へのお願い (萌芽的セッション報告)

- ・1 日目のポスターは来場後なるべく速やかに貼りつけていただき, 1 日目終了後までに取り外してください。この時点で残っていたポスターは開催校で撤去します。
- ・2 日目のポスターは当日の 13 時 05 分までに貼りつけていただき, 後ほど取り外してください (閉会後でも結構です)。閉会后 10 分経っても残っていたポスターはこちらで撤去します。
- ・最大で A0 (縦 1189×横 841mm) のスペースが利用可能です。報告ごとにポスター位置が指定されています。
- ・ポスターの貼りつけには画鋏あるいはセロハンテープ (いずれも開催校が用意) が使用可能です。
- ・部会開始 5 分前に集合してください。

#### 7 問い合わせ先

**研究事務局** 〒113-0033 東京都文京区本郷 7 丁目 3-1

東京大学大学院人文社会系研究科 瀧川 裕貴

E-mail: jams.research[at]gmail.com

**大会開催校** 〒305-0033 茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学人文社会系 山本英弘

E-mail: jams.meeting74[at]Japan.tsukuba.ac.jp (一般的な問い合わせ)

3月6日(月)

13:00~15:00	編集委員会	人文社会棟 203 教室
13:30~15:00	研究活動委員会	人文社会棟 204 教室
15:00~17:00	ワンステップアップ・セミナー	総合研究棟 B110 教室
17:00~19:00	理事会	人文社会棟 203 教室

3月7日(火)

08:50 開場

09:10 開会挨拶 大会委員長 山本英弘 1 H201 教室

09:15~10:55 自由報告 I

【第1部会】 計量 1 H201 教室

司会 多喜弘文(法政大学)

1	セクシュアル・ハラスメントにおける不快感の抑制要因	太郎丸博(京都大学)・張亮(京都大学)
2	『聞き書きマップ』で記録した音声の自動認識によるテキスト化の試み	原田豊(立正大学)
3	あいまいに決定される夫婦の子ども数：回顧調査による家族形成期の分析(1)	保田時男(関西大学)
4	貧困と恋愛：回顧調査による家族形成期の分析(2)	小林盾(成蹊大学)

【第2部会】 ネットワーク 1C210 教室

司会 石黒格(立教大学)

1	現代アーティストの「メール・アート実験」は何を語るか—「グローバル・アートワールド」の形成の社会ネットワーク分析—	金光淳(京都産業大学)
2	トピックス数と選択的接触の閾値がエコーチェンバーの発生に与える影響	名倉卓弥(筑波大学)、秋山英三(筑波大学)
3	社会ネットワークの形成規則と中心性—概念整理と予備的考察—	鈴木努(東北学院大学)

\*\*\*\*休憩(15分)\*\*\*\*

11:10~12:40 萌芽的セッション I

1	アメリカ大統領選における分極化とリベラル化：投票行動への Kitagawa 要因分解の応用	五十嵐彰 (大阪大学)・〇齋藤僚介 (大阪大学)
2	Latent Structural Patterns of Occupational Networks in East Asian Countries	鈴木伸生 (岩手県立大学)
3	有限集団における非対称 3 人ゲームの戦略の長時間平均頻度の導出とその応用	関口卓也 (理化学研究所)
4	jamovi による社会ネットワーク分析のためのモジュールの開発	鈴木努 (東北学院大学)
5	大学院博士課程出身者の社会的背景と職業達成-東大社研パネル特別調査「これまでの人生経験に関する調査」の結果から-	菅澤貴之 (熊本大学)
6	"Trajectory of Functional Health among Middle-aged and Elderly in China: From the Perspective of Cumulative Advantage and Disadvantage"	楊葉 (慶應義塾大学)
7	未婚化と所得格差拡大：消費生活に関するパネル調査を用いた分析	木村裕貴 (東京大学)
8	性別職域・専攻分離メカニズムとしての「手に職」志向	〇寺本えりか (東京大学)・打越文弥 (プリンストン大学)
9	コロナ禍からみえる脆弱性の構造	三隅一人 (九州大学)
10	日本人のネットワーク・サイズの変化：2005 年と 2022 年の比較	石黒格 (立教大学)
11	政策アクターに対する信頼は、COVID-19 対策への支持を左右するか：サーベイ実験による検討	〇藤田泰昌 (長崎大学)、山本英弘 (筑波大学)
12	他者に対する距離感と信頼の関係の探索的研究	太田裕一郎 (流通経済大学)
13	高齢期の社会的排除・持続的貧困がもたらす負の軌跡：入院・入所・死亡	〇百瀬由璃絵 (東京大学)・小林 江里香 (東京都健康長寿医療センター)
14	国会図書館全文テキストデータによる文化の幾何学アプローチの検証	〇瀧川裕貴 (東京大学)、呂沢宇 (東京大学)、謝拓文 (東北大学)、齋藤崇治 (東京大学)、石橋拳 (専修大学)
15	非正規雇用就業者のライフコース上での不利と階層帰属意識	那須蘭太郎 (東京大学)
16	JGSS をもちいた収入の欠測要因についてのトレンド分析	〇石橋拳 (専修大学)、前田忠彦 (統計数理研究所)
17	政党は誰から投票されているのか、いないのか？：意識空間を媒介とした社会階層の検証	桑名祐樹 (早稲田大学)
18	金融トラブルに巻き込まれる要因の Lasso による分析	鈴木明宏 (山形大学)、高橋広雅 (広島市立大学)、竹本亨 (日本大学)
19	AI によるアダプティブな調査デザイナー—オンライン調査における職業データを例に—	〇高橋和子 (敬愛大学)・藤原翔 (東京大学)・奥村学 (東京工業大学)・鈴木泰山 (ピ

		コラボ)・鈴木佑京 (ピコラボ)・合木茂 (ピコラボ)
20	家事・育児行動の記述的分析：時間帯・同時行動に着目して	胡中孟徳 (東京大学)
21	社会的態度についての公理的測定論	清水裕士 (関西学院大学)

\*\*\*\* 昼食休憩 (80分) \*\*\*\*

14:00~16:00 開催校シンポジウム「不平等と政治」  
司会・オーガナイザー：山本英弘 (筑波大学)

1H201 教室

1	現代日本のエリートと有権者の平等価値の構造	竹中佳彦 (筑波大学)
2	現代日本社会における政治意識・行動と社会的格差：社会意識を含めた関連構造	田辺俊介 (早稲田大学)
3	日本人のポピュリスト態度：因子構造・規定要因・政治的アクター好感度との関連	伊藤理史 (京都産業大学)
	討論者	遠藤晶久 (早稲田大学) 富永京子 (立命館大学)

\*\*\*\* 休憩 (10分) \*\*\*\*

16:10~17:10 総会

1H201 教室

3月8日 (水)

08:45 開場

09:00~10:15 自由報告 II		
【第3部会】階層		1 H201 番教室
司会 吉田航 (国立社会保障・人口問題研究所)		
1	Multigenerational Perspective on Trends in Intergenerational Educational Mobility in Japan	○麦山亮太 (学習院大学)、 石橋拳 (専修大学)
2	職業経歴を通じた職業スキルの軌跡：ジェンダー・学歴による長期的な軌跡の違いに着目して	新田真悟 (東京大学)

3	接触か相続か——三世代間学歴再生産における接触仮説と耐久性資源仮説の検証——	石橋拳（専修大学）
---	--	-----------

【第4部会】数理

1C210 番教室

司会 関口卓也（理化学研究所）

1	間接互惠性の進化における互惠戦略とフリーライダーの安定共存	○佐々木達矢（郡山女子大学短期大学部）、内田智士（倫理研究所）、岡田勇（創価大学）、山本仁志（立正大学）
2	所得格差と心理的利得がプレイヤー間の社会的距離に与える影響についてのゲーム理論分析	吉岡陽祐（筑波大学）
3	大学偏差値は何を説明しているか —エージェント・ベース・モデル（ABM）を通して—	樊怡舟（広島大学） 康凱翔（広島大学） 中尾走（広島大学）

\*\*\*\*休憩（15分）\*\*\*\*

10:30～12:00 萌芽的セッション II

会場 1

1C棟 3, 4階ホール、1C306

1	R.ブードンの IEO・ISO モデルによる業績主義社会における教育達成と社会的移動の分析	○小野佑理（関西学院大学）・石田淳（関西学院大学）
2	オンラインパネルモニタの構築とサンプルデータの基礎分布 - SSJDA Panel2021-2022-	○谷口沙恵（東京大学）・石田賢示（東京大学）・藤原翔（東京大学）
3	家事スキルの格差が家事分担の不平等をもたらすメカニズム—ランダム化要因配置実験を用いた検証—	尾藤央延（大阪大学）
4	先制攻撃ゲームの意思決定メカニズムの検討	○柏原宗一郎（関西学院大学） 清水裕士（関西学院大学）
5	An Agent Based Model of Condensation of Group Identity	石田淳（関西学院大学）
6	大学進学に周囲の生徒が影響を及ぼす場合に予想される現象の検討	○石井秀昌（東京大学）、郡宏（東京大学）
7	食品管理アプリによる家庭系食品ロス削減の実証的研究	○村山いまり（東京大学）、三輪哲（東京大学）
8	役員兼任、株式取得、役員派遣からみる日本企業ネットワーク	○藤山英樹（獨協大学）、金光淳（京都産業大学）、鈴木

		努（東北学院大学）、平井岳哉（獨協大学）
9	福岡県各地域の「中心都市」へのアクセシビリティと若年人口の動態について	家高裕史（関西学院大学）
10	多母集団同時分析による組織コミットメントの日米比較	吉岡洋介（千葉大学）
11	社会的ジレンマ状況における罰の逆効果の検討：協力や罰のフレームに注目して	○水野景子（関西学院大学） 清水裕士（関西学院大学）
12	きょうだい出生順位とリスク態度に関する経済実験とその社会学的考察	○土屋瑤夏（筑波大学）、福住多一（筑波大学）
13	多様化した学校外教育の現状	眞田英毅（同志社大学）
14	因果効果の推定における交絡変数の欠損と測定誤差のトレードオフの検討：いくつかの想定から	中尾走（広島市立大学）・樊怡舟（広島大学）・康凱翔（広島大学）
15	老親扶養・介護意識の変容—NFRJ データによる分析—	乾順子（大阪公立大学）
16	学歴メリトクラシーに関する意識と職業志向性の関係におけるジェンダー差	山口哲司（東京大学）
17	介護・扶養意識の分析：規範とニーズに注目して	李 雯雯（立命館大学）
18	教員の長時間労働にかかわる職業意識：TALIS2018 を用いた分析	三輪卓見（東京大学）
19	プロ野球「2004年の球界再編」はどのように語られているのか：YouTube上のコメントに対するテキストマイニング	○松原弘明（電気通信大学）、橋山智訓（電気通信大学）
20	科学技術に関する主観的知識のジェンダー・ギャップ：測定と分析手法の検討	山本耕平（公益社団法人 国際経済労働研究所）
21	格差認識が階層間不信に与える影響	大崎裕子（立教大学）
22	現代日本社会の教育領域における〈社会〉のゆくえ：サーベイ実験を用いた計量分析	池田大輝（東京大学）

12:10 閉会挨拶 大会委員長 山本英弘

1H201 教室教室

（備考）

- 印は登壇者を示します。E は英語による報告です。The E symbol stands for English presentations.
- 「抜き刷り交換コーナー」を設けます。論文、報告書、マニュアル、自作ソフトなどを置けます。事前に「交換用抜き刷り」と表記して大会事務局宛に送付できます。
- ワンステップアップ・セミナー参加（無料）には申し込みが必要です。詳細はセミナー案内をご覧ください。定員に余裕がある場合は当日参加受付もいたします。
- 大学敷地内は、全面禁煙となっております。ご理解ご協力を願いたします。
- 学内ネットワーク（無線 LAN）が利用可能です。受付テーブルにて利用方法とゲストアカウントをお伝えします。なお、数に限りがありますので、eduroam が利用可能な方はお願いいたします。